ニュースリリース

2026 年 11 月 19 日
東京ケーブルネットワーク株式会社

街の記憶を聞く AI、ケーブルテレビ局が地域で実証

～地域番組の取材ノウハウを反映したブロードリスニング～

東京ケーブルネットワーク株式会社（以下、TCN　本社：東京都文京区　代表取締役社長：津滝　義仁）は、コミュニティチャンネルの番組制作における地域取材の経験を生かし、株式会社エボルブ（本社：大阪府大阪市　代表取締役：安松　亮）と連携し、街の記憶を　AI　との対話で収集する実証実験を文京区根津地域で実施しました。

エボルブ社の対話型 AI「PRizmo（プリズモ）」を活用し、利用者の話に応じて質問を重ねる「地域の AI インタビュアー」として構築しました。TCN　の地域番組取材経験を生かし、**質問の深め方や会話の「間」などを調整しました。**利用者が安心して話し、記憶を思い起こせる聞き方を設計しました。

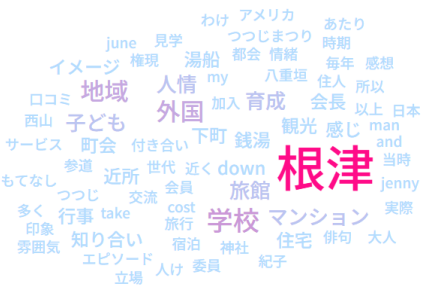
■根津で暮らしの記憶を収集し　利用者の反応を確認

2026 年 9～10 月、根津地域活動センターの協力のもと、町会や SNS、地域イベントを通じて参加者を募集。インタビューは URL の入力や二次元コードを読み取るだけで開始でき、音声やテキストで対話できる仕組みにしました。会話ログと利用後アンケートを取得し、幅広い年代の方にご参加いただきました。

会話ログでは、例えば利用者が昔の商店について語った際、AI　が店の思い出や買い物の場面をさらに尋ねることで、単に商店がなくなったという話だけではなく、子どもの頃に遊び道具を買いに行った喜びが語られました。街の印象に場所や時期の情報が加わる事例もあり、史実だけでは捉えきれない、その場所で暮らしてきた人ならではの**経験や感情を記録できました。**

利用後アンケートには、質問内容を「ちょうどよかった」とする回答や、アバターへの親しみ、話を要約・復唱する応答への好意的な感想が寄せられました。語りを地域の記事として公開する将来的な構想にも肯定的な意見があり、聞き取りの入口としての手応えを得ました。





左：実証で使用した対話画面　AI が地域との関わりや思い出を尋ねる
右：対話ログに現れた語句の可視化例

■人の代替ではなく、インタビューの新たな手法
参加者がブラウザから簡単にインタビューを受けられるため、取材者が一人ずつ訪問する方法に比べ、聞き取りの対象を広げやすい点が本手法の特徴です。蓄積した語りの共通項や視点の違いを分析し、**集合知として街の輪郭を捉える**ことができます。
幅広い声を集めるブロードリスニングに加え、AIとの対話を通じて参加者が過去の経験を思い出し、言語化することで、新たな取材の種を見いだすきっかけにもなります。今回の実証では最終的な制作物を限定せず、匿名で語りを収集しました。今後、本人の同意を得て連絡先を確認する仕組みを設ければ、得られた語りから詳しく聞きたい題材を選び、**直接取材で深掘りしたり、番組として映像取材したり**することができます。

取材においては、聞き手の知識に加え、表情や反応に応じて質問を変える柔軟な対応も重要であり、人の判断や対応を生かすべき場面もあります。本手法は、人によるインタビューの代替を目指しているわけではありません。多くの人への聞き取りと、個別の経験を深める人の取材を、用途に応じて組み合わせるものです。地域の歴史や体験を語りとして残す「オーラルヒストリー」における聞き手不足への対応にも役立つと考えています。

■地域や専門分野の知識を 対話の準備と設計に生かす

地名や名所・名跡などの読み違いは、地域への誇りや愛着を傷つけ、対話への信頼を損なうおそれがあります。円滑な会話に必要な知識を備えるため、本実証でも地域の背景情報を事前に AI へ組み込みました。対象に合わせた知識整備には手間とコストがかかり、継続運用に向けた課題と捉えています。

一方で、その準備と対話の方向付けに、地域を知るケーブルテレビ局の専門性を生かせます。同様に、オーラルヒストリーに取り組む研究者なども、各分野の知識と調査目的を反映した聞き取りに応用することが可能です。

TCN では本実証実験を通じ、AI アバターとの対話により地域の経験や記憶を聞き取れることを確認しました。今後は、地域メディアとして取材題材や地域の歴史収集などへの応用を検討してまいります。

なお、本取り組みについては、2026 年 11 月 7･8 日に近畿大学東大阪キャンパスで開催されたデジタルアーカイブ学会第 11 回研究大会で「AI アバターを活用した『地域のオーラルヒストリー』収集」と題してポスター発表しました。研究大会予稿を同学会の学会誌に寄稿しています。
https://doi.org/10.24506/jsda.10.s2_s288

対話型 AI「PRizmo（プリズモ）」について

PRizmo は、企業や組織の目的に合わせて役割・知識・人柄・対話の進め方を設計できる、株式会社エボルブの対話型AIソリューションです。一人ひとりの話を聞き、意図や状況を理解しながら対話を進めることで、案内や相談対応から今回のようなインタビューまで、さまざまな役割を担う「デジタル社員」として活用できます。Web サイトや施設など、人とのコミュニケーションが求められる場所に導入できます。　公式サイト：https://prizmo.ai/

［リリースに関するお問合せ先］
東京ケーブルネットワーク株式会社　事業開発室　担当：松尾　遼
住所：東京都文京区後楽１丁目１番７号　グラスシティ後楽５階
TEL：0800-123-2600（10：00～17:00／日・祝休み）　/ FAX：03-3818-6797
ホームページの法人様お問い合わせフォームからもお問い合わせいただけます。
https://www.tcn-catv.co.jp/corporatesite/contact/